

令和3年度第2回 四万十市まち・ひと・しごと創生会議 議事概要

○日 時 令和3年10月29日（金） 14:00～16:07

○場 所 四万十市役所本庁舎3階 防災対策室

○出席者 委員13名のうち出席11名

○配布資料

会議次第

資料1：四万十市まち・ひと・しごと創生会議資料

資料2：四万十市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗管理シート（上半期）

資料3：四万十市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI 一覧（第1期）

資料4：四万十市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI 一覧（第2期）

<結果概要>

1 開会 14:00

- ・新任委員の紹介
- ・会議成立報告

2 議事 14:03

(1) 四万十市の人口等について

- ・事務局説明

資料1の1～3ページをもとに、四万十市の人口等について説明

【質疑等】

会 長 婚姻率とは何でしょうか。

事 務 局 人口千人に対する婚姻件数の割合となります。

A 委 員 令和元年は令和婚で婚姻件数が増えていますが、前年に減少している要因は令和に合わせて婚姻を控えたのでしょうか。

事 務 局 令和に合わせて先延ばししたことはあると思います。

(2) 四万十市の産業状況等について

- ・事務局説明

資料1の4～6ページをもとに、四万十市の産業状況、新型コロナウイルス対策等について説明

【質疑等】

特になし

(3) 第2期総合戦略の進捗状況について

- ・基本目標1：事務局説明

資料1の7～10ページをもとに、第2期総合戦略の基本目標1に位置づける具体的事業の主な取り組みについて説明

【質 疑】

B 委 員 9 ページ左下、中心商店街活性化協議会の検証指標「はれのぼ入込客数」は何をカウントした数値になりますか。

観 光 商 工 課 「はれのぼ」に設置している防犯カメラの画像分析からカウントした人数になります。

会 長 カウントした中から購買者数や購買率なども把握されていますか。

観 光 商 工 課 店舗ごとの売り上げは把握していますが数値は手元に持ち合わせていません。

会 長 以前よくお聞きする事例の中で、商店街にカメラを設置し、店舗前の通過者数と入店者数を自動的にカウントすることで、それを見ながら店のディスプレイを変えていくという A I を経営に活用したものがありませんので、参考になればご活用いただければと思います。

C 委 員 7 ページ、⑦⑧のグラフの標題が R 2 から H 2 7 となっていますが、H 2 7 から R 2 の誤りでしょうか。

事 務 局 標記誤りです。正しくは H 2 7 から R 2 になります。

C 委 員 グラフ⑦で 10～20ha の経営耕地面積が大幅に増えています、ほ場整備の関係ということでしょうか。

事 務 局 これは昨年実施しました農林業センサスの結果になっており、5 年間の増減を表わしたものになります。一般的には農地の集約やほ場整備が進んでいますので、その結果がグラフに反映されているものと考えています。

・基本目標 2：事務局説明

資料 1 の 11 ページをもとに、第 2 期総合戦略の基本目標 2 に位置づける具体的事業の主な取り組みについて説明

【質 疑】

D 委 員 移住したものの定住に至らなかった方も少なからずおられると思いますが、その理由について分析はされていますか。

事 務 局 高知県の調査にはなりますが、移住した方が 2 年経過してどのような状況にあるのかフォローアップをしております。それでは、家族の事情等により地元に戻られたり、また違う地域で仕事が見つかったことから、本市での定住につながらなかったケースが多いことは把握しております。

会 長 単に数を稼ぐのではなく、担い手として期待する人に移住していただくことを考えるのであれば、プロモーション情報が大事という研究もあります。そのプロモーション情報に触れるかどうかで、移住後、ミッション型のボランティアをしてみたいと思うか思わないか、参加意向に差が出るという研究報告もあり

ます。

E 委員 県では、県内の小さい集落 1,500 程を対象に集落实態調査を現在行っており、200 集落程で地区長など代表者への聞き取りを終えたところです。実態として、人が減り、地域の活力が落ちてきていることを共通の悩みとして持たれており、代表者の約 4 割が活性化には移住者を受け入れていく取り組みが必要とお答えされています。そういう意味でも、四万十市への定住、移住者にしっかりと根付いていただくことも含め、移住の取り組みを推進していただきたいと思いを

ます。また、インターネットで広く移住者を募集することは大切だと思いますが、四万十市出身で進学のために市外に出て、首都圏や関西で就職されている方が退職後に帰ってくれば、文化や生活なども身に付いているので地域の担い手になると思います。そういった方へのアプローチについて、県のほうでも取り組んでいくとお聞きしていますので、是非市のほうでも取り組んでいただければと思います。

F 委員 地域おこし協力隊について、天体観測というキーワードを用いて募集されたことは良かったと思います。移住者からすれば四万十市でも四万十町でも、高知県延いては四国という考え方で入ってくると思います。このようなミッションがあり、移住してやりたいことをできる場所があるというので入ってくれば、定住していただけるのではないかと思います。

事務局 市のほうでも平成 24 年度から地域おこし協力隊を配置していますが、これまでは地域振興を行うフリーミッション型をメインに取り組んできたところです。近年は、政策的な課題に対するミッション型での配置に移行しており、内容に興味のある方からの応募にもなると思っていますので、ご意見いただいた点も意識しながら取り組んでいきたいと思いを

・基本目標 3：事務局説明

資料 1 の 12 ページをもとに、第 2 期総合戦略の基本目標 3 に位置づける具体的事業の主な取り組みについて説明

【質 疑】

A 委員 ファミリーサポートセンターの運営を行っていますが、援助会員の中には自宅で預かることに抵抗のある方がいることが分かり、市の援助を受けて預かり部屋を始めたところです。徐々に人気が出てきており、そういった工夫もしながら援助会員も増やしていきたいと考えているところです。

また、小さい子ども達が雨の日に遊べる場所をアピアさつきの中に設けていただいています。もう少し広い、気軽に遊べる場所が欲しいという保護者の要望を聞くことがあります。今後、使われなくなる学校もでてくるのではないかと思います。市としてどのようにお考えでしょうか。

子育て支援課 ご提案にもありましたが、休校舎等の公共施設活用も考えられますが、使われていない公共施設はどうしても山間部になってきます。そういった立地的な条件も踏まえ、ニーズを把握する必要がありますし、市街地で活用できる施設についても把握しながら検討はしてみたいと思います。

また、民間団体の活動内容の充実、拡大についても、支援団体と意見交換しながら進めていきたいと考えています。

会長 専用の施設といかないまでも、プログラムを提供する団体や活動が行える場づくりが一体的になれば良いと思います。四万十市の場合は、文化複合施設などでもそういった空間がでてくると思いますので、こういったニーズをつなげていただき、活動をどうしていくのか、お知恵を集めていただければと思います。

・基本目標4：事務局説明

資料1の13ページをもとに、第2期総合戦略の基本目標4に位置づける具体的事業の主な取り組みについて説明

【質疑】

G 委員 予土線利用促進対策協議会の事務局が四万十町ということも関係していると思いますが、市民にとって活動内容が分かりづらいものとなっています。

また、北の玄関口である江川崎駅を降り、道の駅よって西土佐に行くまで車なら1～2分ですが、小さい子ども連れで歩くには20分程かかります。西土佐地域にはタクシーがなく、暑い時期に汗をかきながら歩いている方が沢山います。駅を降りる時間は決まっていますので、その時間のみでも駅から中型のタクシー的な運行をしていただくようお願いしたいと思います。地域には観光推進協議会という組織もありますので、そこを絡めたツアーも考えていただければと思います。

地域企画課 本年度は、四万十町にある海洋堂ホビー館との連携事業として、ラッピング列車やウルトラトレインを運行しておりますが、期限付きということで次をどうするか検討しているところです。愛媛県にも予土線利用促進対策協議会がありますので、両協議会での連携事業などについても話しを進めているところです。

ご提案の江川崎駅から道の駅よって西土佐までの移動手段については、予約制で運行している9人乗りのデマンドバスだけになります。タクシー的な車両の運行について即答はできませんが、道の駅や観光振興協議会とも協議を行う必要があるかと思っています。

会長 ご提案については、交通だけでなく観光における二次交通の問題だと思います。一朝一夕で解決するのは難しいと思いますが、課題認識と検討を引き続きお願いしたいと思います。Google検索するとGTFISにより駅から路線バスの接続情報はでてきますが、デマンドバスは情報がでないため、域外の方には使いづらい面もあると思います。利用シーンに合わせてデマンドバスを活用できるような宣伝方法があれば良いと思います。

A 委 員 あったかふれあいセンター事業ですが、障害者の方の社会参加のつなぎの活動について、通所リハビリを頑張って社会生活ができるようになった方が、集まって物を作り販売するなど、生き甲斐となる自分の機能を活かすことができる場が欲しいという話を良く聞きます。頑張って社会参加できるようになっても行くところがない方が四万十市は多いのではないかと思います。今後そういう場をつくる具体的なお考えはありますか。

事 務 局 福祉事務所が本日出席していませんので、この場でご説明できない状況ですが、ご意見いただいた内容は福祉事務所につないで、検討があるかどうか確認させていただきたいと思います。

H 委 員 地域共生型社会の創造ということで、様々なところがつながろうとしています。幡多福祉保健所では、医療と保健、福祉のつながりに取り組んできましたが、住み慣れたところで暮らし続けていくには、様々な機関がつながることが大事になってきます。障害者のお話しがでしたが、例えば認知症の方が今後増えてくる中で、あったかふれあいセンターや健康福祉委員会が果たす役割は非常に大きくなってくると思います。そういった中で、保健、福祉、医療だけのつながりではなく、ここに企業とのつながりなども必要と考えています。認知症の方は一人で買い物に行けないこともあります。例えば量販店の方に認知症に対する理解を持っていただくだけで、一人で買い物に行けたりということもできます。また、交通面に関してもサポートがあれば一人で出掛けることができるようになることもあります。是非まち・ひと・しごと創生会議を通じて様々なところが連携していければと思います。

会 長 共生社会は昨今でできたキーワードのひとつですが、どの自治体も総合戦略に入れることができていないのが現状だと思います。これからの我々のまちづくりを考える上で非常に重要なキーワードであることは間違いありませんので、こういったご意見は引き続きいただきたいと思います。市のほうでも本日出席されていない方につないでいただけるという言葉もありましたので、こういった地道な活動も続けながら出来るだけ早く未来の社会を実現できればと思います。

(4) 総合戦略の改訂（案）について

・事務局説明

資料1の14ページをもとに、第2期四万十市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂（案）について説明

【質 疑】

特になし

【全体を通じての意見等】

- I 委員 基本目標1の9ページ、経営指導などサポート体制の強化ですが、コロナの関係でいわゆる諦め廃業の件数がかかなり増えています。高知県の場合は、事業承継・引継ぎ支援センターが他よりも早く手を打ち、体制的にも充実していますので、商工会議所など民間が連携し、しっかり後を引き継いでいけるような仕組みを四万十市でつくっていきたいと思っています。四万十市の場合は、後をやりたいという方が県内でも比較的見つけやすいと思いますので、商工会議所、行政、金融機関が連携して取り組むことが大事だと考えています。
- また、下半期の取り組みにはなりますが、四万十市においてはコロナ対策の融資を先々週開始していただき、3～4日で申し込みが殺到した状況です。他の自治体に同様の制度がない中で、地域のニーズを捉えられて制度に取り組みされたのは素晴らしいことだと感じています。

3 その他 16:05

- ・事務連絡：事務局説明

委員委嘱期間の満了に伴い、委員就任について改めて依頼させていただくことを説明

【閉会挨拶】

- 副会長 私は、西土佐地域の昭和53年生まれで同級生が80人程いましたが、今年度西土佐地域で生まれてくる子どもは知る限りで5人しかいません。先ほど中村地域と西土佐地域合わせて100人程が上半期に妊娠届を提出されたという説明がありましたが、目に見えて少子化が進んでいることに深刻さを感じています。出会いも大事だと思いますが、母子家庭や父子家庭が四万十市へ帰ってきて子育てできるような受け入れも大事ではないかと思います。子どもがいなければ未来へと続かないので、皆で協力して取り組んでいく必要があると思います。

4 閉会 16:07